



第2回総合計画審議資料

事務局 総合企画政策室

第1回審議会のまとめについて

- ・産業
- ・まちづくり
- ・医療・福祉・教育
- ・その他（上記項目以外のもの）

の4項目についてディスカッションをおこなっていただきました。

また、審議会終了後に追加意見をいただき、それも踏まえ事務局で各分類に仕分けし、これらを新たな総合計画の重点プロジェクト（案）としました。

分類について次ページより説明します。

分類 1 について

第 1 回審議会での意見について

- ・ 関西万博のあとに訪れてもらう観光の造成
- ・ インバウンドの言語対応等
- ・ 企業誘致
- ・ 農業の付加価値
- ・ 祭りや獅子舞などの伝統文化の継承と保存
- ・ 雇用の場が少ない
- ・ 市内に赤目以外の観光スポットが少ない
- ・ 竹を活用（SDG s）した観光誘客に雇用を結び付ける
- ・ 名張市といえはこれというようなキラーコンテンツの造成が必要



重点プロジェクト（案）

産業のまち

「産業のまち」とした理由について

- ・ 主に産業をテーマとしたディスカッションの中で農業や伝統産業の雇用確保等の意見が出ました。
観光分野に限らず、観光を含めた産業の施策を重点プロジェクトとし、雇用や経済の活性化等について取り組んでいくために「産業のまち」としました。

分類 2 について

第 1 回審議会での意見について

- ・ 子育て世代の意見をくみ取る
- ・ まちづくりでの雇用確保・若者参画・後継者問題・人材育成
- ・ 子どもに生きる力を
- ・ 学生のまちとのかかわり方（密に関わってほしい）
- ・ 人口減少による農業集落機能の低下
- ・ 大学生や高専生との接点を増やす
- ・ 地元の若者が参画しやすい行事の計画
- ・ ばりっこ会議の中学・高校版



重点プロジェクト（案）

若者参画のまち

「若者参画のまち」とした理由について

- ・ 主にまちづくりのディスカッションの中で、まちづくりについては全国でも先駆的な取組を行ってきたが、若者の参画において課題があるとの認識があった。
まちづくり等に尽力いただいている方と若者との融合が10年後の名張市を見据えた中で重要。
また、若者の参画については「まちづくり」だけでなく様々な分野で関わっていただくことが広がりを生み出すため、「若者参画のまち」とさせていただきます。

分類3について

第1回審議会での意見について

- ・スポーツ施設の老朽化
- ・中学校給食の実施
- ・生涯学習の充実
- ・産院が1つと少ない
- ・未就学児は手厚いサポートがあるが小・中と学年が上がるとサポートが薄くなる
- ・地域で子育てを支える必要性があるのではないか
- ・日常の中での【遊び】から学ぶ機会が減っている
- ・イベントではなく日常の中での楽しみや交流があれば良い
- ・子育てママ企画とか、子どもが主体のイベントで市民センターを借りやすくなれば良い
- ・子育て中のお母さんが笑顔になれる名張市になればよい
- ・旧町での車と人（道路狭小等）との動線問題
- ・インフラの更新問題
- ・防災情報など地区ごとに市が出向いて講習する



重点プロジェクト（案）

安心・安全なまち

「安心・安全なまち」とした理由について

・主に医療・福祉・教育の分野において様々な意見がありました。が、「新・理想郷プラン」において医療・福祉・教育の分野については重点的に取り組んできました。今後も総じて市民がいきいきと安心・安全な生活を名張市で送りたいと考えていると感じたため、「安心・安全なまち」とさせていただきます。

分類 4 について

第 1 回審議会での意見について

- ・名張市といえばこれというようなキラーコンテンツの作成が必要
- ・住宅団地に住んでいると旧町に来る理由（交流）がない
- ・まちの良さのPRが必要
- ・有名人にPRパートナーになってもらう
- ・PRパートナー制度ができたが、それを知っている市民が少ない
- ・アプリで市の情報を見ることができれば若者も見るのではないか
- ・出前トークの実績内容を広報に掲載
- ・10年後の姿を「ガーデンシティなばり」としてはどうか
- ・緑と水に囲まれたまちに
- ・芸術の街なばりの演出
- ・何かに特化した取組をおこなうことが良いのではないか
- ・市が非常に良い取組みを行っていてもそれを知らない市民がいるため必要な方へ届く情報発信を行う
- ・地域愛を育む
- ・かかわる人材の育成が必要



重点プロジェクト（案）

シティプロモーション

「シティプロモーション」とした理由について

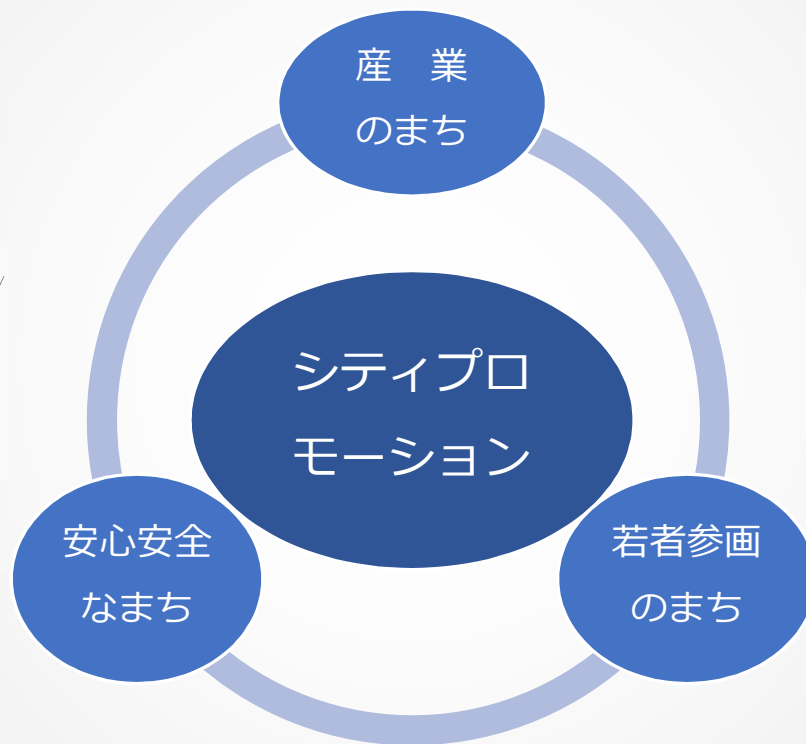
主にその他意見でのディスカッションにおいて、市民向けの様々な取組が市民に周知できていないとの意見や名張市版アプリの導入の意見は、総じて情報発信の重要性を求めていると考えられます。

また、ガーデンシティなばり、芸術の街なばりの演出といった事柄についても市内外に名張市をPRするコンテンツ（何かに特化する等）の必要性を具体化したものであると考えられます。

PRパートナーの活用についても名張市のPRの手段の一環と考えられ、市内外の情報発信の重要性があると感じたため「シティプロモーション」とさせていただきました。

4つの重点プロジェクト（案） の関係性について

「産業のまち」、「若者参画のまち」、「安心安全なまち」
「シティプロモーション」の4つの関係性は以下のように考え
られました。



「シティプロモーション」はすべての項目に当てはまる
ものであり、また「産業のまち」、「若者参画のまち」、
「安心安全なまち」についてもそれぞれ独立したものでは
なく、相互に関係性があるため上図のような関係性と整理
しました。

現計画の基本構想について

現在の総合計画である「新・理想郷プラン」の基本構想は以下のようになっています。

◎目指す「名張」の将来像

**豊かな自然と文化に包まれて
誰もが元気で幸せに暮らせるまち 名張**

◎基本目標

1. 支え合い健康でいきいきと暮らせるまち
2. 美しい自然に包まれ快適に暮らせるまち
3. 活力に満ちて暮らせるまち
4. 豊かな心と健やかな体を育み暮らせるまち
5. 未来につなぐ自立と協働による市政経営

<参考> 三重県の場合

◎目指す姿

「強じんて多様な魅力あふれる「美し国」の実現」

◎基本方向

1. 安心・安全の確保
2. 活力ある産業・地域づくり
3. 共生社会の実現
4. 未来を拓くひとづくり

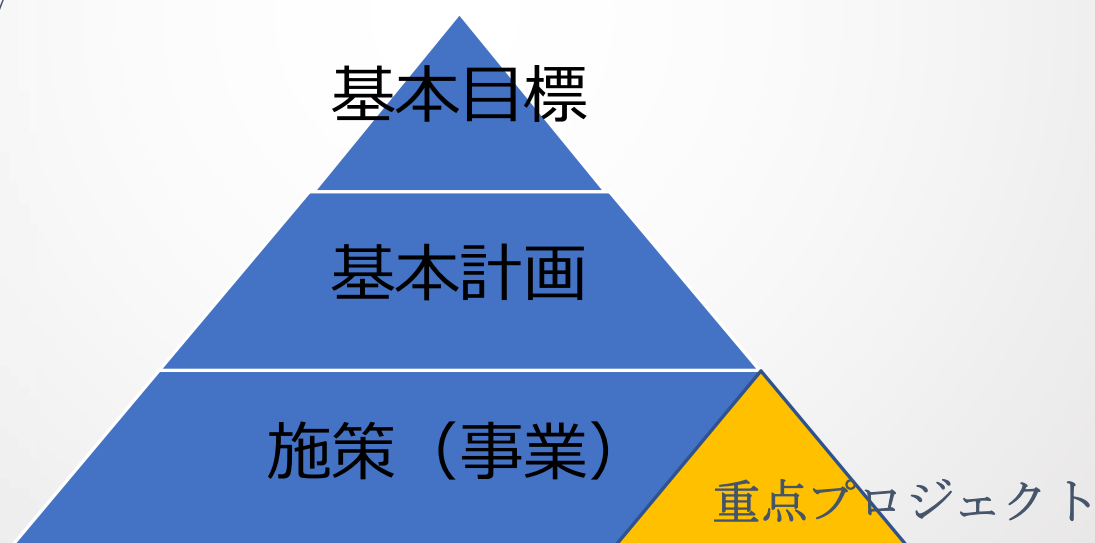
審議について

総合計画においては、下記の構造で成り立っています。
審議をいただきたいのは下記の2点になります。

- ・ 目指す名張の将来像
- ・ 基本目標

基本目標は総合計画において10年後のめざすべき名張市の実現のための基本的な考え方（方向性）を示すものになります。

◎目指す「名張」の将来像実現のために



※重点プロジェクトは施策の中で特に力を入れて取り組む施策や事業を強調するかたちとなります。